

No.196

令和3年9月  
定例会号  
2021年11月1日発行

 **いるま**

**市議会**

**だより**

### 9月定例会

条例など31議案等を審議	..	..	..	2 P
定例会議決結果	..	..	..	3 P
14名が一般質問	..	..	..	4 P
市民の声	..	..	..	16 P





# 第3回定例会

## 31 議案等を審議

- 規約 1件 ■条例 4件 ■一般議案 4件
- 補正予算 8件 ■令和2年度決算認定及び関連議案 11件
- 議員提出議案 1件 ■委員会提出議案 1件 ■請願 1件

## 条 例

一  
部  
改  
正  
条  
例

議案第 58 号	入間市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
議案第 59 号	入間市個人情報保護条例の一部を改正する条例
議案第 60 号	入間市手数料条例の一部を改正する条例
議案第 61 号	入間市商工業振興条例の一部を改正する条例

### 財産の取得について

児童・生徒の教育環境向上事業用 大型モニター 他

取得金額	29,148,900円	取得の相手方	武正株式会社
------	-------------	--------	--------

※子どもたちの教育環境の向上のため、市内小・中学校における儀式や授業で使用する大型モニターおよびディスプレイスタンドを取得するもの。



# 令和3年9月定例会（第3回定例会）議決結果

## 全会一致の議案等

議案等番号	議案等の件名
市	57 埼玉県都市競艇組合規約の変更について
	58 入間市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
	59 入間市個人情報保護条例の一部を改正する条例
	60 入間市手数料条例の一部を改正する条例
長	61 入間市商工業振興条例の一部を改正する条例
	62 市道路線の廃止について（市道幹 15 号線ほか 154 路線）
	63 市道路線の認定について（市道幹 15 号線ほか 138 路線）
提	64 財産の取得について
	65 財産の取得について
	66 令和3年度入間市一般会計補正予算（第7号）
出	67 令和3年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	68 令和3年度入間市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
	69 令和3年度入間市介護保険特別会計補正予算（第1号）
議	70 令和3年度入間都市計画事業武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
	71 令和3年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
	72 令和3年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
	84 令和3年度入間市一般会計補正予算（第8号）
議 提出 委員 案	4 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について
	2 重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大を求める旨の意見書について

■令和2年度決算認定および関連議案は、閉会中の継続審査として、9人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

## 議会人事

本定例会において、決算特別委員会が設置され、新たに特別委員が選出されました。

### 決算特別委員会

◎ 松本 義明    ○ 長谷川 涉    安道 佳子    向口 文恵    吉田 賢一  
 双木 小百合    永澤 美恵子    古仲 リカ    小島 清人

◎は委員長 ○は副委員長



# 一般質問

9月定例会の一般質問は、質問者14名により9月14日・15日・16日の3日間行われました。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約したものです

ページ	質問項目	質問要旨	議員名
5	教育行政	小・中学校における学力向上について 中学校の部活動について	吉田 賢一
	環境行政	プラスチック・ビニール類の分別について プラスチック・ビニール類およびペットボトルの収集について	
	コロナ対策	ワクチン接種の予約の不平等について 小・中学生のワクチン接種について	
		土地利用	
5	公共施設マネジメント	公共施設マネジメントについて	野口 哲次
6	障がい者福祉	放課後等デイサービス事業所について	池島 司
	高齢者福祉	認知症施策について	
	企画行政	自治体DXの具体化に向けた取組みについて	
6	一般行政	「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化」の取り組み加速で、高齢者等のデジタル格差の解消へ	向口 文恵
	福祉行政	断らない相談事業、「重層的支援体制整備事業」で地域共生社会の実現を	
	商工行政	プレミアム付電子商品券の発行で、コロナ禍の地域経済の活性化を	
7	人権	パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について	細田 智也
	福祉行政	補助犬と補助犬使用者が安心して暮らせるまちへ	
	環境行政	入間市災害廃棄物処理計画について	
7	市民対応	困った時の相談体制について	双木 小百合
	農のあるまちづくり行政	農村環境改善センターの現況と変革期の機能	
	教育行政	子ども未来室事業の変革期の対応	
8	広域行政	広域行政について	大野 勉
	人材確保	人材確保について	
	庁用車の更新	庁用車の更新について	
8	交通安全	不老橋架け換え工事に伴う住民負担軽減と交通安全対策を	金澤 秀信
	学校教育	小中学校生の通学時の負担軽減を	
	危機管理	避難行動要支援者避難支援プランの推進を	
	行財政改革	入間市駅南口自転車駐車場の抜本的な経費削減を	
	水道行政	上水道配水管の更新時に、ポリエチレン管の採用で経費削減と耐震性の向上を	
9	コロナ対策	コロナ対策の支援拡充を	安道 佳子
	国保行政	国保税の値上げは止めて減免拡充で支援を	
	教育行政	学校給食費の無料化で子育て世代を支援	
9	自然環境保護	野田の河岸段丘崖の下に広がる、『谷田の泉』の保全と活用について	宮岡 治郎
	市本庁舎管理	市役所駐車場で、庁舎目的以外の駐車の有料化の効果について	
	学校施設整備	市内16小学校の普通教室の、現在の状況と当面の対応について	
10	道路行政	橋の架け換え工事について	古仲 リカ
	環境行政	住宅街の集中豪雨対策について 市民清掃デーについて	
		コロナ対策	
10	まちづくり	入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略	松本 義明
11	福祉政策	コロナ禍で困窮する子育て世帯への支援を	小出 亘
11	新型コロナ対策	市民の命を具体的にどう守るか	佐藤 匡
	基地対策	重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律（土地利用規制法）について	



※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



### 学力向上、資源ごみ について

吉田 賢一 議員

- **質問** 小・中学校の学力向上について
- **教育長** 「学習意欲の向上」「学びにおける調整力」「聴く力」「協働」「やりきる力」の課題改善に取り組み、学習環境を構築できるよう、全力で学校を支援する。
- **質問** 中学校の部活動について
- **教育長** 生徒数の減少に伴い、職員も減少し、部活動数も減ってきている現状。充実感を得ることができるよう体制作りに努めていく。
- **質問** プラスチック・ビニール類の分別について
- **環境経済部長** 分別されていないものもあり、ごみ分別アプリなどで、周知している。ごみの量は、年々増加傾向にある。
- **質問** プラスチック・ビニール類、ペッ

トボトルの収集について

**環境経済部長** 収集日を増やすと、回収業者への委託業務費用を増加しなければならず、現状は厳しい。今後、市民の意見を伺いながら、検討していく。

**質問** ワクチン接種予約の不平等について

**市長** 一括で接種券を配送したが、結果として、差が生じてしまい、大変申し訳なく思っている。現在、接種を希望する方の予約は、概ね可能になっている。

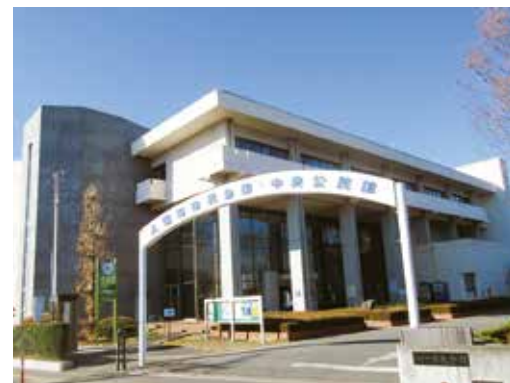


東金子小学校

**市長** 市民の意見を聞きゼロベースでの議論をしていくことが大事である。

**質問** 市民ホール存続を見直す考えがあるなら先の市長選挙で表明して欲しかった。ゼロベースでは何も分からない。市長のリーダーシップの下、方向性を示して議論を進めて欲しい。

**市長** 今回の公開事業仕分けは、外部の専門家が論点を絞りだし市民が判定したものであり重いものである。最終的に私が判断するのは当然のことである。



市民会館



### 市民会館見直しと 市長の立ち位置

野口 哲次 議員

- **質問** 市民会館・中央公民館の耐震改修の費用は約16億9千万円。さらに、市民の快適性の向上を図るには5億9千万円が加算されるとの積算結果が出た。市は、約23億円の費用をかけて市民会館を耐震改修するのか、慎重に検討しているとのこと。
- そのような状況の下で、9月に行われた公開事業仕分けにおいて、市民会館は1000人規模のホールを持つ必要があるかどうかの見地から見直すべきと判定された。
- 市民ホール存続については、当初の市役所との複合化案から今の耐震改修案に至るまで様々な意見が出され議論がなされた。
- それらの意見とコロナ禍の財政状況を踏まえ、存続するかどうか、まずは市長の考えを明らかにすべきでは。



## 障がい者福祉・ 高齢者福祉について

池島 司 議員

**質問** (1)放課後等デイサービスの設置地域の偏りへの対応は。(2)新規事業所の設置予定は。(3)学校と放課後等デイサービス事業所との連携は。

**福祉部長** (1)事業所のない地域への設置を事業者に求めているが、最終的には事業者が判断。多くがバスによる送迎で対応している。(2)令和5年度末までに重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービスを各1カ所ずつ確保する目標。(3)相談支援事業所が担当者会議や個別支援会議等を開催する際に、学校や事業所に参加を依頼することがある。関係機関の連携により適切な支援につなげたい。学校と事業所の連携はより良い支援につながるため、

教育部局と情報共有等を図りたい。

**質問** オレンジガーデニングプロジェクトとは。

**健康推進部長** 9月の世界アルツハイマー月間にあわせて、認知症のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせ、SNSなどでその様子を発信し、認知症の理解を深める活動。当市では花を咲かせる活動を市公式フェイスブック等で広報するほか、花の種の配布を行っている。今後も認知症普及啓発活動を積極的に実施していきたい。



放課後等デイサービスのイメージ

伴う「福祉総合相談窓口」の開始とともに当事業の実施を。②専門性ある十分な人員配置、予算の確保を求めるが見解は。

**市長** ①第6次入間市総合計画後期基本計画に盛り込み一体的に取り組む。②体制の構築に向け十分な予算と人員配置を図る。

**質問** 実施の時期を検討しつつ、新しい生活様式に対応した「プレミアム付電子商品券」で地域の活性化を。

**環境経済部長** 商品券の電子化を前向きに検討。先行事例も研究し取り組む。



総務省の「デジタル活用支援推進事業」を表すロゴマーク



## スマホ講座・ 断らない窓口の実施

向口 文恵 議員

**質問** 9月1日にデジタル庁が発足。誰もがその恩恵を享受できるよう、デジタル機器の扱いに不慣れな高齢者などの格差をなくす支援が必要。①総務省のデジタル活用支援事業に着手を。②携帯キャリア会社実施のスマホ講習会の周知を。③市庁舎等に「デジタル活用支援員」の配置を。

**企画部長** ①市内事業者と協議を進めている。来年度以降も募集があれば事業者に情報提供・周知を図る。②市公式ホームページで周知を図る。③市民からの問い合わせ等が多ければ配置を検討する。

**質問** 昨年の社会福祉法改正により、どんな相談事も断らず地域の力を借りながら支援していく「重層的支援体制整備事業」が始まっている。①公民館のセンター化に

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



### 人権・福祉行政・ 環境行政

細田 智也 議員

- **質問** パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入の経緯と概要は。  
**市民生活部長** 令和2年9月議会に請願が提出され、全会一致で採択された。認証制度の制定に向けて調査・研究を行う中で、制度の趣旨や当事者の方の意見も踏まえ、「入間市パートナーシップ・ファミリーシップの宣誓の取扱いに関する要綱」を制定し、令和3年9月1日に施行した。
- **質問** パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度導入に対しての市長の思いは。  
**市長** 市としては、人権問題として捉えている。各課の連携もこの制度の導入を機に全職員一丸となって皆様のお気持ちに寄り添える対応に努めていきたい。
- **質問** 補助犬利用者が安心してトイレを

利用できるよう、公共施設への「補助犬同伴可」ステッカーの掲示ができないか。

**福祉部長** ご提案の通り、市施設の多目的トイレ等の入口に「補助犬同伴可」のステッカーを掲示できるよう検討していく。

**質問** 災害廃棄物処理計画の今後の取り組みは。

**環境経済部長** 今年度改定予定の入間市地域防災計画との整合を図り、また防災訓練での災害廃棄物受け入れ訓練の実施も調整していく。HPや紙媒体での周知も行う。



補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）

加治丘陵と一体化した活用も視野に研究 3. 資源を活かし市民に活用される施設へ。

**質問** 子ども未来室事業の変革期の対応 1. 特別支援学級設置のセンター方式変革 2. 未設置中学校への設置 3. 変革期の展望は。

**教育長** 1. 中学校特別支援学級は障害の特性に応じた学びと自立や社会参加を考慮、社会性育成を重視 2. 慎重に検討 3. 医療・福祉・こども・地域保健等庁内外の部課機関と連携し切れ目のない早期発見支援で小一プロブレム、中一ギャップ等も解消する。



### 切れ目のない 支援体制とは

双木 小百合 議員

- **質問** 困った時の相談体制（障害のある場合の生涯にわたる）1. 現状と課題は。2. 相談情報（カルテ・記録）の取扱方法は。  
**市長** 1. ういずと障害者相談支援センター、就労相談へと切れ目のない相談体制の構築に努めており、情報共有システムの構築に取り組む。2. デジタル三原則の実現に向け、一元的情報管理体制を構築する。また、オンライン申請と支援環境を整備する。
- **質問** 農村環境改善センター機能変革は 1. 設置目的の効果発現は 2. ファーマーズセンター化による農業活性化は 3. 食の生産と消費を結ぶ加工商品化流通システム構築。  
**市長** 1. 設置後 35 年経過。情勢変化に対応し見直しと変革が必要 2. 国の仕組み変革を受け、農業振興に繋ぐ新たな課題解決策、



農村環境改善センター：加治丘陵中腹の佇まい。左の斜面は花見の丘予定地。





## 広域行政・人材確保・ 庁用車更新

大野 勉 議員

**質問** 広域行政として、これまでのダイアプランを総括すると。

**企画部長** 公共施設の相互利用や、個別分野での連携により、圏域の特性を生かした魅力あるまちづくりを進めてきた。

**質問** 市長として、ダイアプランに期待するものは。

**市長** スケールメリットを生かし、各市単独では難しい地域課題の解決に、圏域全体で取り組むことを期待しており、連携によるメリットを市民が享受できるよう、幅広く取り組んでいきたい。

**質問** 人材確保の取り組みとして、入間市独自の採用システムの研究を。

**総務部長** 知識だけでなく、多角的な視点から人物像を総合的に評価することが必

要であり、より公平・公正で、効果的な採用試験の方法を研究していきたい。

**質問** 採用試験に加点制度導入の検討を。  
**総務部長** 加点制度の基準を設け公表することは難しいが、面接試験を充実させ、徳の高い職員を採用すべく研究していく。

**質問** 庁用車の年次計画に基づく更新を。  
**総務部長** 限られた予算の中で計画的な車両の更新が難しい現状だが、適正台数を見極め、実施計画とのバランスを考慮しながら、年次計画の策定に努めたい。



ダイアプランの入間市での観光キャンペーンと制作されたデザイントラック



## 不老橋架け換え工事に 伴う対策を

金澤 秀信 議員

**質問** 今秋から1年半車両通行止めとなる不老橋架け換え工事に伴う交通安全対策として①交通誘導員の配置時間は通学時間帯の朝7時半からに②不老橋上流南側の側道の市道への迂回路設置を③事前要請したカーブミラー増設や路面標示などの工事時期④不老川側道のバリアフリー対策を。

**都市整備部長** ①県と協議②設置③工事開始前までに施工④スロープを設置

**質問** 子どもの負担軽減のため置き勉の推進で通学カバンの重さ軽減を要請してきたが依然学校によって差があり、対応を。

**教育長** 各学校に対策推進を呼び掛ける。

**質問** 防災対策として避難要支援者向けの個別避難計画作成が低水準に留まっている。促進に向けた対策強化を。

**危機管理監** 福祉部門等と連携強化する。

**質問** 入間市駅南口駐車場の抜本的経費削減により老朽化した施設の維持管理を。

**市民生活部長** 安全安心を維持しながら経費削減を図る。

**質問** 口径100mm以下の配水管更新には安価で耐震性のあるポリエチレン管を採用した場合の経費削減効果と今後の方針は。

**上下水道部長** 効果額は2.9億円以上見込み、今後ポリエチレン管の諸課題を検討後、採用に向け検討し、耐震化を推進する。



不老川緊急治水対策事業として架け換え予定の不老橋



※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



### コロナ対策・国保軽減・給食無料

安道 佳子 議員

- **質問** コロナ感染症の入間市の状況は。  
**健康推進部長** 感染者数7月は1日平均3.87人が8月の1日平均は26.77人に増加。自宅療養者は狭山保健所管内で8月25日現在2千520人。保健所体制は逼迫し、県の職員派遣で95人体制に。市からも保健師を1人派遣した。ワクチン接種は11月上旬に2回目接種が終了する見込みである。
- **質問** 自宅療養中の方々に食料品やパルスオキシメーター等の支援を。  
**危機管理監** 8月31日からパルスオキシメーター貸し出しと配食サービスを実施。9月14日現在、パルスオキシメーターの貸し出しは56件、配食サービスは59件。
- **質問** コロナ禍で国保世帯の暮らしは厳しい。子どもの均等割を廃止すべき。

**健康推進部長** 子どもの均等割は令和4年度から未就学児に5割軽減導入の予定。

**質問** 市の国保税は近隣市より重い。来年度、値上げをしない工夫をすべき。

**健康推進部長** 国保連協答申を受け検討。

**質問** 給食費無料化の署名を過日提出した。1千431筆に込めた願いへの見解は。

**教育長** 署名に託された願いは重く受け止めている。給食の食材料は保護者負担が原則。給食無料化は自治体では困難。国に要請したい。国で取り組む課題である。



パルスオキシメーターの貸し出し



### 湧水の環境保全 駐車場・普通教室

宮岡 治郎 議員

- **質問** 野田の『谷田の泉』は、公有地化整備から10年以上経過する。(1)当初からの環境管理の方針による成果は。(2)市民の環境意識啓発や、学校の環境教育への活用は。
- **環境経済部長** (1)絶滅危惧種の動植物は、一部を除いて、安定して生育している。(2)自然観察会では記録を付けている。野田中・西武小では、総合学習の対象としている。
- **質問** 市役所駐車場の庁舎目的外駐車の有料化の効果について。(1)無料駐車と有料駐車との割合は。(2)庁舎目的外の駐車が大幅に減ったと思うが、どの様に評価するのか。
- **総務部長** (1)令和2年4月20日から令和3年7月31日までで、無料駐車93.2%、有料駐車6.8%、となっている。(2)開庁時間内の無断駐車による混雑は、緩和出来ている。

**質問** 市内16小学校の普通教室について。(1)ICT環境の整備で、大型機材の配置での工夫は。(2)35人学級は、4年後まで段階的に導入されるが、教室数の確保は。

**教育長** (1)大型モニターを、移動可能なスタンドや、既存のテレビ台上に設置する。なお、スペースに余裕が無い学校では、焦点距離の短いプロジェクターの導入を予定。(2)必要な普通教室数は全16校で、令和3年度が251教室で、令和7年度は258教室と予定され、全16校が現状で対応出来る見込。



武蔵野の面影は、今わずかに入間に残るもこもこと湧き出る泉、野田の谷田



## 橋の工事、雨水対策、清掃デー

古仲 リカ 議員

**質問** (1)富士見橋(2)藤沢橋(3)不老橋(4)建武橋の進捗状況と今後のスケジュールは。

**都市整備部長** (1)と(2)仮橋工事施工中、令和5年3月に全て工事完了予定(3)令和3年11月上旬工事着手準備、通行止めを予定。(4)令和4年3月末までに対面通行が可能に。

**質問** 不老橋の迂回路周辺整備、対策は。

**都市整備部長** HPに情報掲載、5月に市報、8月に豊岡・藤沢地区全戸へ案内文を配布。生活道路への進入抑制のため、県道川越入間線や安川新道等のわかりやすい位置へ看板設置。通行者へお知らせしていく。

**質問** 不老川流域における住宅街の集中豪雨対策として他市の先進事例を参考に雨水貯留浸透施設等の推進を。

**都市整備部長** 提案の雨水対策は必要で

あると考える。市でも調査・研究していく。

**質問** 市民清掃デーについて(1)取組状況(2)回収業者の現状(3)学生や子どもたちの参加で高齢化による担い手不足の対策を。

**環境経済部長** (1)入間市連合区長会と市が共催、4つの協力団体と市民憲章推進協議会の後援により実施(2)コロナ禍の影響で減少している(3)小中学生と親の参加者を多くする工夫など自治会活動の活性化につなげている事例がある。過去にとらわれず各自治会にあった取り組みを推進していく。



埼玉県と入間市がおこなう架け換え工事となる橋の位置図 (入間市 HP より)



## 新型コロナウイルス感染症対策

松本 義明 議員

**質問** 若年層の新型コロナウイルス感染者が増えており、改めて感染拡大防止を徹底すべきである。中学生、高校生を含む若い世代へのワクチン接種の状況は。

**健康推進部長** 9月15日現在の1回目接種者と予約者を合わせた率は中学生約70%、高校生約72%、12～19歳約70%、20～39歳約63%である。感染拡大防止を徹底する。

**質問** 保健所業務の支援をすべきでは。

**健康推進部長** 自宅療養者へパルスオキシメーターの貸出し、食料品を届ける配食サービスを実施している。

**質問** コロナの影響により地域経済は疲弊している。市内の企業・労働者の現状把握に努め更なる支援をしていくべきでは。

**環境経済部長** 入間市経済懇談会を開催

した。各団体からいただいた意見は緊急性も考慮して個別に対応する。地域全体の経済回復事業としては実施時期、効果、内容を精査し検討する。埼玉県が飲食店を対象に実施している「彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店+ (プラス)」の認証について、一店舗でも多くの飲食店が取得できるようPRや店舗への訪問を行っている。

【その他】

入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略について



「彩の国『新しい生活様式』安心宣言飲食店+(プラス)」の認証ステッカー





## 食料配付、 学校に生理用品を

小出 亘 議員

- **質問** 生活に困窮するひとり親世帯など何らかの理由で十分な食事をとることが難しい状況の人々に食品を提供する支援活動であるフードパントリーが入間市でも行われている。この支援活動について①活用状況②利用しやすいフードパントリーへの課題③今後の見通しについて、お聞きする。  
**こども支援部長** 1回目をすでに金子公民館で行い、138件の申し込みで120世帯に米、パン、味噌、カップ麺、レトルト食品、お菓子などを配付した。申し込みやすくするために電話での申し込みも受け付け、広く配付できるようにすでに行った金子地区の他二本木、東金子、藤沢、西武地区でも予定している。令和4年2月までに今後4回予定している。



## 新型コロナ・基地対策

佐藤 匡 議員

- **質問** ワクチン接種による健康被害への補償について伺う。  
**健康推進部長** 予防接種法に基づく国の予防接種健康被害救済制度において救済給付が行われる。医療費の自己負担分や障害が残った場合の障害年金等を対象者に支給する。  
**質問** 妊婦を守る体制の現状は。  
**健康推進部長** 妊娠中の方、パートナー、授乳中の方に対してワクチン接種の優先枠を設け、ワクチン接種を受けやすい環境を整備している。地区担当保健師や助産師等の専門職が妊婦の方からの様々な不安や悩み等の相談に対応し、妊娠、出産、育児までの切れ目のない支援を行っている。  
**質問** 重要施設周辺及び国境離島等にお

**質問** 入間市では学校で生理用品が必要な時には保健室でもらうことができるが、利用しやすくするために女子トイレに常備し誰もが利用できるようにすべきと考えるが、見解は。

**教育長** 現在、生理用品、下着を保健室に常備し、必要な生徒には無償で配付している。トイレの個室に常備すると必要以上に持っていったりと問題が起きる可能性がある。衛生上も保健室に置く方が好ましいと考えている。



ける土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律（土地利用規制法）の対象とされる施設・地域・住民について。

**市長** 現時点では基本方針や政令が定められておらず、対象施設やその範囲については不明である。

**質問** 住民の個人情報を守られるのか。

**市長** 調査により収集された個人情報は行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に基づき適切に管理されるものと認識している。



狭山保健所

## 意見書

### 重度心身障害者医療費助成制度の対象拡大を求める旨の意見書

埼玉県議会の平成30年12月定例会で「精神障害者保健福祉手帳2級所持者を『重度心身障害者医療費助成制度』の対象とするよう求める請願」が採択された。しかし、いまだに予算化されていない。精神障害者保健福祉手帳1級の所持者はすでに助成制度の適用を受けているものの2級の判定を受けた当事者たちは、就労が困難で障害年金に頼り、不足は家族が支えている状態である。医療費は健康と命に直結する問題であり保障されることで、安心して生活ができ、障害の軽減も期待できる。

よって、県においては、重度心身障害者医療費助成制度の対象を精神障害者保健福祉手帳2級所持者まで、早期の拡大を強く求める。

## 請願

### 重度心身障害者医療費助成制度の対象を精神障害者保健福祉手帳2級所持者までの拡大を求める意見書提出に関する請願

埼玉県議会の平成30年12月定例会において「精神障害者保健福祉手帳2級所持者を『重度心身障害者医療費助成制度』の対象とするよう求める請願」が採択されたものの、助成対象の拡大には至っていない。2級所持者たちは、就労が困難で障害年金に頼り、不足は家族が支えている状態である。

請願は対象の拡大を求める意見書を県に提出することを求めている。審議の結果、全会一致で賛成し、採択となった。

## 意見書

### コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税改正に向け、地方税財源の充実を確実に図るよう、強く要望する。

## 就任のあいさつ

定例会最終日（9月24日）に末次副議長から辞職願が提出されたため、副議長選挙を行い、新たに小島清人氏が副議長に選出されました。



副議長 小島 清人

9月定例会において、副議長に就任いたしました。市民の皆様の負託に応え、公正で公平な議会運営に努めてまいります。議会の役割は、地域住民の声を市政に反映させ、行政施策の監視機能を発揮することです。

今後も市民の皆様に信頼される議会を目指すため、誠心誠意、職責を全うしてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

## 委員長および委員の交代

### 基地対策特別委員会

◎古仲 リカ ○吉田 賢一

### 議会運営委員会

長谷川 涉

◎は委員長 ○副委員長

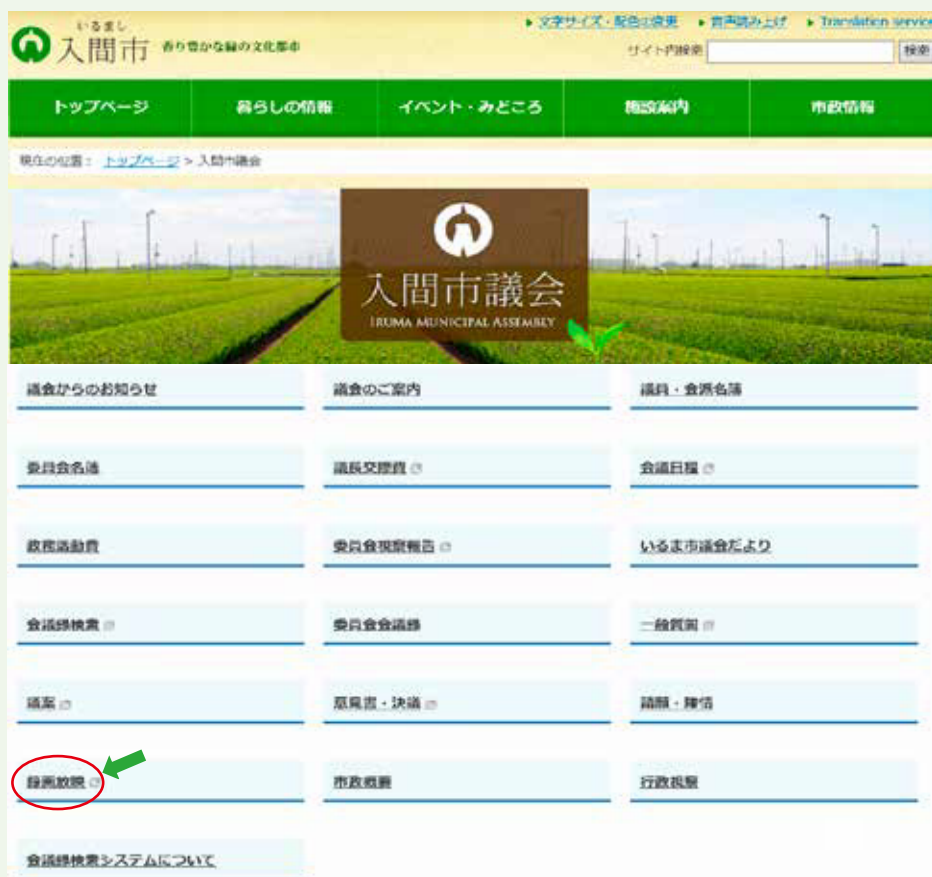


## 議会の録画映像をインターネット配信しています

開かれた議会を目指し、定例会・臨時会の本会議の録画映像をインターネット配信しており、市議会公式ホームページでご覧いただくことができます。

市議会公式ホームページのトップページ下部の「録画放映」をクリックすると配信用ページに移動します。

配信開始は会議日から10日程度です。ぜひ、ご覧ください。



## 車いす対応の傍聴席を設置しています

入間市議会では、車いすを利用される方が容易に議会傍聴ができるよう、車いす用傍聴席3席とともに、段差昇降機を設けております。

ご利用を希望される方は議会事務局職員までお声掛けください。傍聴受付をしていただいた後、傍聴席までご案内します。



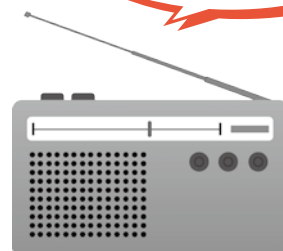
## ラジオ放送しています!!

FMチャッピーで入間市議会本会議のラジオ放送をしています。

ぜひお聴きください。

●FMチャッピー 77.7MHz

●放送時間 議会開催日当日  
の午後10時から



# 入間市議会について

## 議員（定数、任期などについて）

市議会議員は、市民の代表として、市政をどのように進めていくかを決めていく大切な役割を務めます。議員の定数は地方自治法第91条の定めにより、条例で定めることとされています。また、議員の任期は地方自治法第93条の定めにより、4年とされています。

現在、入間市議会の議員定数は22人です。現職の議員は令和3年3月の選挙で選ばれ、任期は令和3年3月30日から令和7年3月29日までです。

## 市議会の権限

【議決権】 条例の制定や改廃、予算などを決めます。

【同意権】 主要人事（副市長・教育委員等）の選任に対して同意するかどうかを決めます。

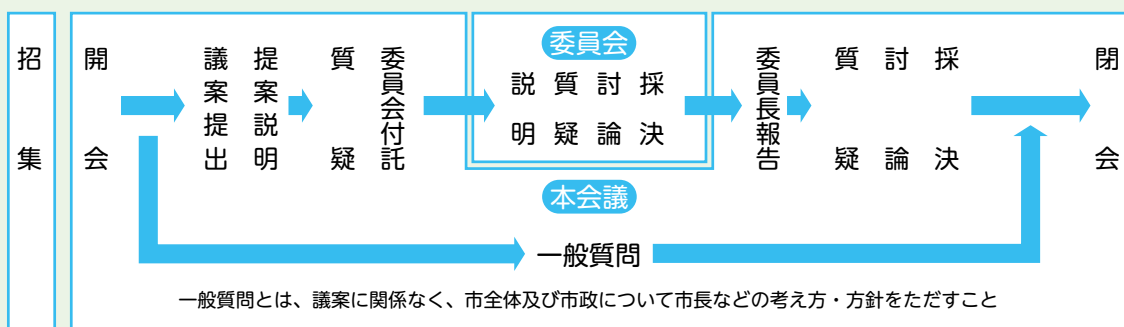
【調査権】 議決により、市の事務に関する調査を行い、記録の提出を請求したりすることができます。

【選挙権】 議長、副議長、選挙管理委員等の選挙をします。

【その他】 決定権、検査および監査請求権、説明請求および意見陳述権、意見表明権、自律権、承認権、報告・書類受理権、請願受理権など。



## 会議の順序





# 委員会を紹介します

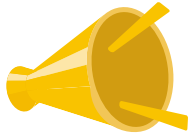
委員会は、本会議で議決する前にいくつかの部門にわかれて専門的に審査する会議です。  
設置されている委員会のうち、議会運営委員会、基地対策特別委員会、公共施設最適化検討特別委員会を紹介します。

議会運営委員会	メンバー	所管事項
	<ul style="list-style-type: none"><li>◎ 松本 義明</li><li>○ 向口 文恵</li><li>○ 小出 亘</li><li>○ 永澤 美恵子</li><li>○ 長谷川 渉</li><li>○ 古仲 リカ</li><li>○ 内村 忠久</li><li>○ 鈴木 洋明</li><li>○ 宮岡 治郎</li></ul>	<p>議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項。</p> <p>委員定数 9名</p>

基地対策特別委員会	メンバー	調査事項
	<ul style="list-style-type: none"><li>◎ 古仲 リカ</li><li>○ 吉田 賢一</li><li>○ 佐藤 匡</li><li>○ 末次 正</li><li>○ 向口 文恵</li><li>○ 池畠 司</li><li>○ 大野 勉</li><li>○ 横田 淳一</li><li>○ 小島 清人</li></ul>	<p>ジョンソン基地跡地利用と入間基地・横田基地に関する諸問題。</p> <p>委員定数 9名</p>

公共施設最適化検討特別委員会	メンバー	調査事項
	<ul style="list-style-type: none"><li>◎ 鈴木 洋明</li><li>○ 内村 忠久</li><li>○ 安道 佳子</li><li>○ 双木 小百合</li><li>○ 金澤 秀信</li><li>○ 永澤 美恵子</li><li>○ 長谷川 渉</li><li>○ 松本 義明</li><li>○ 宮岡 治郎</li></ul>	<p>市庁舎・市民会館並びに市内公共施設のマネジメントに関する諸問題とし、あわせて第1期での統廃合が検討される小・中学校の現地調査等を行うこと。</p> <p>委員定数 9名</p>

◎は委員長 ○は副委員長



# 人間市インタビュー 市民の声

## interview 1



### "タノシイ" "経験"

豊岡  
守屋 嘉久 (青少年相談員会長)

"楽"という字は"ラク"とも"タノシイ"とも読めます。しかし、この2つは大きく違います。"ラク"な事は"タノシイ"とは限りません。"タノシイ"とはなんのでしょうか？私は、大変で面倒くさくて苦しいことに、本気で夢中で取り組んでこそ"タノシイ"が見つかると思います。もちろん友達とお喋りする事も楽しいですが、例えば万燈まつりや部活動で目標に向けて準備している瞬間は"タノシイ"ですよ？

ぜひ子ども達に"タノシイ"を"経験"して欲しいと思います。そこに子ども達の成長や学びがあるからです。しかし、このような"経験"を準備するのはそう簡単ではありません。今後も子ども達のために"タノシイ"を"体験"が出来るよう環境を整えていく必要があるのではないのでしょうか。青少年相談員と共に頑張りましょう。

## interview 2



### コロナ禍の伝統行事

新久  
吉野 平治 (無職)

今年もコロナ禍のあおりを受け、入間万燈まつりを初め、多くの地区で夏まつり、秋まつりの中止が多い。

私の住んでいる新久では、真夏の到来は、大字を挙げて天王様の時期であるが、聞き親しんだ囃子、勇壮な櫓太鼓の音色、山車巡行も2年連続の中止となり残念である。私は、囃子を聞き祭りをみる立場であるが、心配なのは、伝統行事の担い手として、お囃子を練習し身につけようとしている子供達である。2年間の中止は、小さな子供達の心(気持ち)を、お囃子に引き止めていてくれるだろうか！

新型コロナウイルスの感染拡大がなかったとしても、少子高齢化社会の進展の中では、以前と同じ様式での行事遂行は難しい状況であったが、ここで一気に新しい行事様式を受け入れざるを得ない状況になってきていると思われる。



## いるま市議会だより No.196

表紙 / 愛宕公園 紅葉  
撮影 / 市民カメラマン 松浦 利勝さん  
編集 / 議会広報委員会  
◎宮岡 治郎 ○吉田 賢一  
小出 亘 池島 司  
大野 勉 双木小百合  
細田 智也 金澤 秀信  
内村 忠久  
発行 / 人間市議会  
インターネットアドレス  
<http://www.city.irusa.saitama.jp/gikai/>

## 12月定例会日程案

- 11月30日 (火) 開会
- 12月 6日 (月) 総括質疑
- 12月 7日 (火) 総務常任委員会
- 12月 8日 (水) 都市経済常任委員会
- 12月 9日 (木) 福祉教育常任委員会
- 12月13日 (月) 一般質問
- 12月14日 (火) 一般質問
- 12月15日 (水) 一般質問
- 12月21日 (火) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。



問い合わせ 〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 (04)2964-1111(議会事務局 内線5112・5113・5114)